

SUPER GT 2026シリーズ開幕間近!!

小林 利徠斗 大湯 都史樹

りくおゆペアに突撃インタビュー!!

2026年もKeeperは、全国のキーパー施工店、キーパープロショップの看板を背負い、CERUMOとタッグを組んでSUPER GTに参戦します。ドライバーは20歳のホープ、小林利徠斗選手とモータースポーツ界を牽引する大湯都史樹選手。2/19に行われた富士スピードウェイでのテスト走行に突撃し、SUPER GTファンから多大な注目を浴びている2人の選手にインタビューを行いました。

テスト走行はどんなことをするんですか?

大湯選手 / 主にタイヤやマシンの開発をすることがメインです。各部品の良し悪しをチェックしたり、サーキットの特性を確認したりします。現時点では昨年と大きく変更しているわけではないですが、順調にテストは行われていますし、これからまだ何回かテストはあるので細部の調整を進めていきます。

小林選手はGT300からGT500へ初参戦となりますね。

小林選手 / はい、これまでテスト走行をしてきて少しずつ車やチームに慣れ、GT500でシーズンを戦う準備はできていると思います。しかしながら初戦まで間もないのでスパートをかけて成長していきます。GT500はGT300よりスバルタンです。人間が許容できる範囲が狭いため、その規格に合わせていけるよう頑張っています。

昨年を顧みつつ、今シーズンはどんな戦いをしたいですか?

大湯選手 / 昨年連続でチャンピオンを獲得している#36 au TOM'Sはコンスタントにポイントを取っていました。しかも常に上位にいました。僕たちは昨年良いところまでいきましたが、相手の不調だったり、運も味方した部分も大いにありました。しかし#36はチャンピオンの風格を思わせる安定したパフォーマンスを見せていました。僕たちはサーキットや季節によって浮き沈みのある安定しないパフォーマンスであったと思います。苦しいレースでも上位でフィニッシュができる安定した走りが必要だと思います。

小林選手 / このチームに加わることが決まった時は、嬉しさ半分驚き半分でした。セルモというチームは昨年はもちろん、ずっと前からチャンピオン争いに食い込めるチームだということは一人の観客として見ていました。レベルが高さをわかっているので、それに合ったドライバーになれるように頑張ろうという気持ちです。

小林選手はe-Motorsportsをやっていたんですね。

小林選手 / はい、世界2位になりました。始めた理由は、もともと車やゲームが好きで、モータースポーツのゲームをずっと続けていました。実際にフォーミュラなどリアルな箱車に乗り始めるとゲームが役立つことに気づきました。実際に車を走らせるとなるとたくさんの方の協力やお金、時間が必要となりますが、そういった制約にとらわれずに練習ができます。今はリアルなモータースポーツが忙しくなりやっていますが、e-Motorsportsは、風向きや気温、湿度などの要因がなく、常に統一した状態で走行できるため、ドライバーの実力のみでの戦いが楽しめるのも魅力だと思います。

お互いの選手の良いところはどこですか?

大湯選手 / 今シーズン、誰と組みたいかという話になった時に一番に小林選手の名前を出したほどその才能を高く評価しています。走りに関してはすぐ順応できるドライバーだと思っています。とはいえレースは走りだけでは勝てません。いろんな経験をして慣れていかなければいけないと思いますが、若くしてトップチームで走れる環境が与えられたことは大きなチャンスだと思います。

小林選手 / 観客としてずっと大湯選手を見てきました。速くて、上手くて、アグレッシブに挑み、いつも良いポジションにいる大湯選手をずっとリスペクトしていました。同じチームのドライバーとして、モータースポーツの先輩としてアドバイスをもらったり、食事などプライベートでも会話したりと仲良くしてもらっています。

EXキーパーを施工した38号車はどうですか?

大湯選手 / 昨シーズンが終わった後、確実に他の車に比べてキレイだったと思います。キレイな車に乗るのはモチベーションが上がりますし、コーティングが走りに良い影響があることも実感しています。自家用車にも施工して水はじきの良さや洗車が楽になるなどカーライフに役立っています。



自宅でグランツーリスモをドライブする小林利徠斗選手【写真: DRAFTING】

小林選手 / コーティングは汚れが付きにくくなるだけではなく、汚れが落ちやすく致命的な汚れになりにくいところだと思います。長く車に乗るために、コーティングは大事だと思います。

Keeper技研という企業をどう思いますか?

大湯選手 / 大きな会社なのに、すごいファミリー感があるアットホームな雰囲気です。それでいて「これやったらどうだろう?」というチャレンジ精神と、それを実現する勢いのある会社です。社長や会長のソウルが社風を作っているんだなと尊敬をしています。僕もチャレンジを忘れず、新しいことをどんどん取り入れていきたいと思っています。

セルモの強みはどこですか?

大湯選手 / 歴史あるチームで、何度もチャンピオン獲得や優勝をし、立川監督や石浦選手が牽引してきました。またそれぞれの分野のスタッフが同じ方向を向き、統一感があるチームだと思います。あとはすごく明るくて、和気藹々としているところも魅力です。

小林選手 / セルモは同じ方向を向いているからこそ、それぞれ何をすべきかが分かっていると思います。だからこそ必要ない部分にはいい意味で力が抜けているところが居心地がいいです。

今シーズン、見どころのレースはありますか?

小林選手 / 見どころ...全部好きなので絞れないですね(笑)。僕の考えですけど、富士スピードウェイなどのコースが広いサーキットは抜いて抜かれてのオーバーテイクが起こりやすく面白いし、菅生や岡山など狭いコースだと波乱が起こるので、走っている側は嫌ですけど見る方はとてもエキサイティングだと思います。それぞれのコースによって個性があるので、全部見どころだと思います。

大湯選手 / 僕はマシンの良し悪しでも変わるとは思いますが、攻めていて楽しいのはオートポリスですね。



(左) 大湯 都史樹(おおゆ としき、1998年8月4日生、北海道出身)選手。趣味はDJ、ドリフト。
(右) 小林 利徠斗(こばやし りくと、2005年7月1日生、山形県出身)選手。趣味はアニメ鑑賞。

読者にSUPER GTをアピールしてください!

大湯選手 / まずレースを見たことがない人は、まずは中継でなくサーキットに来て音や速さ、匂いなど、普段味わえないような体験してほしいですね。車にある程度興味がある人は、マシンがどんな作りになっているのかを知ってみたり、レース以外の様々なイベントを楽しんでもらいたいですね。

小林選手 / 車にあまり関心がない人にも楽しめるところがSUPER GTのいいところだと思います。とはいえレースのレベルも高いので、知れば知るほどさらに面白くなると思います。たくさんの方の観客や関係者、たくさんのお店がある雰囲気と、背の低くてイカつかっこいい車を楽しんでください!

マシンカラーリングも完成。サーキットを疾走し、Keeperブランドをアピールしていきます!応援よろしくお祈りします!



【レース日程】

日程	ラウンド	サーキット
4/11(土)・12(日)	Round1 OKAYAMA	岡山国際サーキット(岡山県)
5/3(日祝)・4(月祝)	Round2 FUJI	富士スピードウェイ(静岡県)
6/20(土)・21(日)	Round3 MALAYSIA	セパン・インターナショナル・サーキット(クアラルンプール)
8/1(土)・2(日)	Round4 FUJI	富士スピードウェイ(静岡県)
8/22(土)・23(日)	Round5 SUZUKA	鈴鹿サーキット(三重県)
9/19(土)・20(日)	Round6 SUGO	スポーツランドSUGO(宮城県)
10/17(土)・18(日)	Round7 AUTOPOLIS	オートポリス(大分県)
11/7(土)・8(日)	Round8 MOTEGI	モビリティリゾートもてぎ(栃木県)